

ヤングケアラー支援に係るオンデマンド研修

スクールソーシャルワーカーによる支援①

～SSWの役割と支援を理解する～

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課
北海道スクールソーシャルワーカー

栗田 郁子

はじめに：スクールソーシャルワーカー（SSW）とは？

- 子どもが学校で安心・安全に学べるよう、学校での困りごとについて子どもと家族を支える福祉の専門職です。
- いじめや不登校、保護者の病気や経済的な問題等により、子どもが学校で安心・安全に勉強することが難しくなったときに、福祉サービス等を利用して子どもの置かれている環境に働きかけ、子どもと家族、学校を支える仕事です。



「人與人」「人と機関」「機関と機関」などの
「つながり」を使って支援を行います。

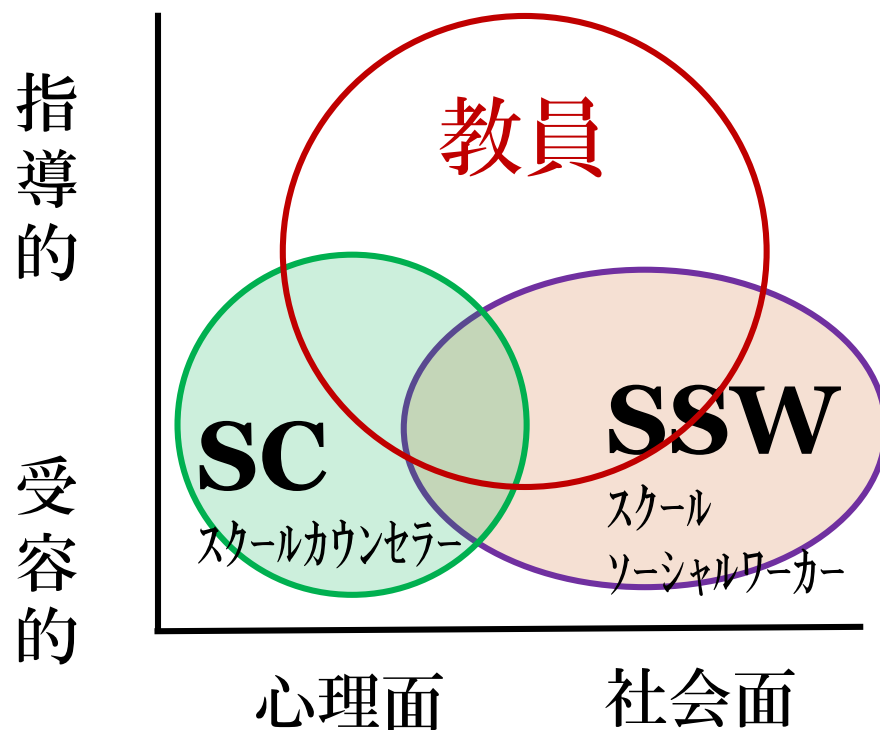
学校での支援について

- 主に「不登校」「発達障害」「家庭環境」の3つの問題が絡み合っているケースに多く対応します。
- 子どもや家庭、学校が困る「今」の対応だけでなく、「これから」を想定して支援を行います。



「今」と「これから」をつないでいく役割

SSWの役割

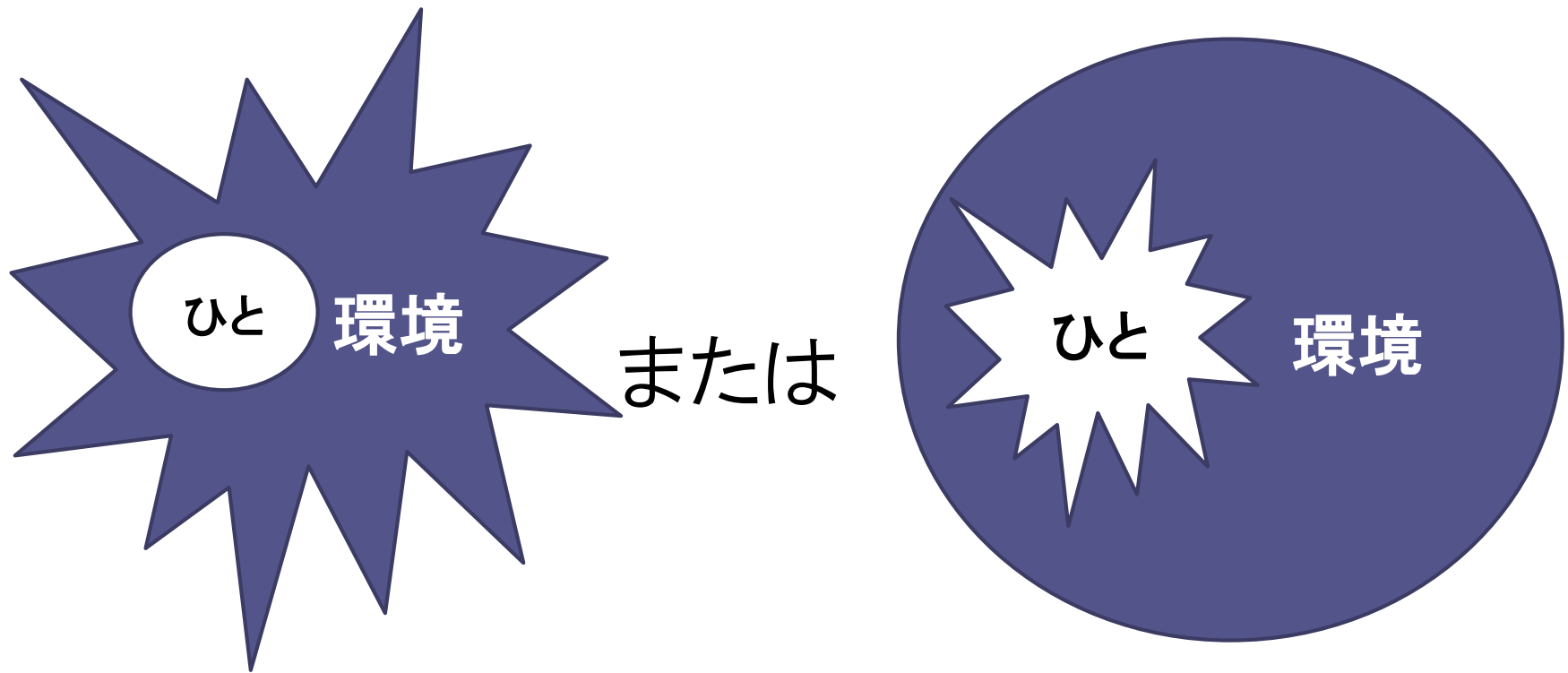


SC＝臨床心理士などの心の専門家、心理面からのサポート
カウンセリング＝専門的な知識、原理や技法を用いて相談者（クライアント）の抱える問題や悩みに対し、面談や支援を行う

SSW＝社会福祉士、精神保健福祉士などの社会福祉の専門職、ソーシャルワークの視点で支援
アセスメント・支援プラン＝様々な診断、検査、評価とその問題を取り巻く環境を調整し、社会資源を用いて支援を行う

「子どもの問題」の考え方

【一般的な捉え】

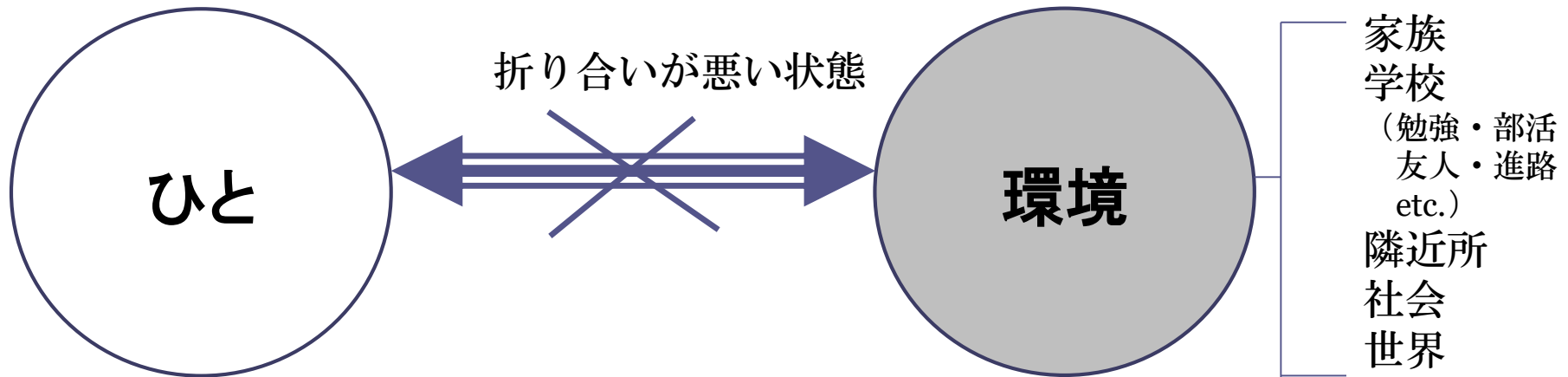


環境が悪いから、
子どもに影響している

子どもに問題があり、
環境を困らせている

「問題」ってどういうこと？

【ひとと環境の不適合】



ひと : 対処能力が低い⇒対処能力を高める
環境 : ひとのニーズにできていない
⇒ニーズに合致するように調整する

社会福祉からのアプローチ

【問題の発生】

- ⇒ 問題は、子ども(または家庭)と環境との関係において生じている
- ⇒ ①子ども(または家庭)は何に困っているのか
(=「困った子、は困っている子」)
- ②問題となる関係は、どのような環境との間に起きた相互作用なのか
- ⇒子どもにとってより良い生活環境や学校環境を調整することで、課題解決や子どもの状況の改善、問題の軽減を図る

「子どもの問題」と「環境」の考え方

× 「子どもが環境に適応できるように、子ども自身が変わるべき」

× 「環境がよければ子どもは問題を起こさないはずなので、問題が起きるということは家庭が悪い」



○ 「子どもと家庭との関係の在り方とお互いへの影響に注目し、その関わり方を変えていくことで問題解決につなげていこう」

関係機関との連携・協働による支援

【のりしろ型支援の必要性】

関係機関がそれぞれの役割を確認し、理解し合うことに加え、お互いに持っている機能を重ね合い、それぞれが歩み寄った対応をする「のりしろ型」の支援へ

